

## 第三者研究会での意見の概要及び意見に対する対応状況

1. 第三者研究会の名称 次世代マルチモーダル ITS 研究会（メンバー及び開催状況別紙）	
2. 第三者研究会での意見の概要及び対応	
意見の概要	意見に対する対応状況
<p>(1) 導入対象の整理について 投資体力等に応じた運用面の整理などが必要と考えられる。一時的な赤字容認なども含め、経済的側面からも実際の運用について考えてみてはどうか</p> <p>(2) 無人駅や車内における業務負担軽減について 無人駅において券売機や精算機を置いた場合にどの程度業務負担が軽くなるか、また、その導入コストなどもあればよいのではないか。 乗車駅や通過駅をリアルタイムに把握し、乗客の乗車券（ICチップ）と通信することで料金収受をし、車内での業務負担の軽減など考えられないか。 無人駅での定期券の利用割合と業務負担度合い等のデータが得られれば面白いのではないか</p> <p>(3) 地域的な連携について パークアンドライドを考えた場合には駅売店（キオスクなど）が駐車場管理を行なうことも考えられ、券売なども委任した場合のことも考えてみても面白いと思う ICカードを持つとどのようなインセンティブがあるかなどの提示も必要であると考えられる</p> <p>(4) まとめ 今回の実験では各業務処理毎に処理時間が計測されており、他の事業者に参加になるデータであり、数値的にも運用可能だと判断できる数値であると言えるのではないか。</p>	<p>(1) 導入対象の整理について 対象を他の中小鉄道事業者に広げた場合のポイントについても報告書に記載した。（4.まとめ） 本調査を進めるにあたっては、事業者側の業務負担や経済的負担を念頭におき、また、実際の導入を想定して実験を行った。</p> <p>(2) 無人駅や車内における業務負担軽減について 精算機を用いた業務負担軽減について報告書に記載した。（4.まとめ） 本調査では、導入コストの低減を念頭におき、簡易な機器に絞って調査した。今後の検討課題とした。 運用時間の計測結果を業務負担度合いの参考データとして報告書に記載した。（3.2.運用時間の計測結果）</p> <p>(3) 地域的な連携について 無人駅などの業務負担軽減策の一つとして、駅売店等の券売に関して、報告書に記載した。（3.3.考察） 事業者や利用者に対するICカードを持つことのインセンティブなどについて今後の検討課題として、報告書に記載した。（4.まとめ）</p> <p>(4) まとめ 運用時間の計測結果及び簡易型ICカード機器の有効性について、報告書に記載した。（3.2.運用時間の計測結果、3.3.考察、4.まとめ）</p>